

ランドセル150個

AMDAに寄託

県内3企業

東日本大震災で学用品を失った岩手県大槌町の小学生に使ってもらおうと、県

内企業3社が2日、ランドセル計150個を国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(岡山市北区)に託した。

文具販売会社「クラブン」(倉敷市)と、コクヨ山陽

四国販売(岡山市南区)、

天満屋岡山店(同市北区)

の3社。アムダは震災直後から複数の被災地で常時約10人が活動している。その中で、「被災児童454人がランドセルを失った」と岩手県大槌町教委から支援要請を受け、県内の企業に協力を呼び掛けていた。

ランドセルの目録を小池彰和・アムダボランティアセンター長に手渡した伊沢正信・クラブン社長は「わずかな数だが、少しでもお役に立てばうれしい」と話し、小池センター長は「ランドセルは子ども

の象徴であり希望。新学期に背負うことができれば大きな励みになる」と感謝していた。

大槌町では、小学校の始業式が20日頃にずれ込む見通しで、アムダは11日頃に現地へ発送する予定。